

総務社会

べきものと決定。

●長野県神城断層地震による被災者に対する村税の減免に特例に関する条例の廃止について

長野県神城断層地震による被災者に対して、平成27年度に課する当該年度分の村民税等の減免について定めた条例であるので廃止するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村職員定数条例の全部改正について

機構改革の一環として組織の改編を行うことから、条例の全部を改正するもの。

問 定数と今の職員数で足りているのか。

答 定数は115名、現在は93名で足りている。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村個人情報保護条例の一部を改正する条例について

「個人情報保護に関する法律」の一部が改正されることから、所要の改正を行うもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村特定個人情報保護条例の一部を改正する条例について

「番号法」の一部が改正されることから、所要の改正を行うもの。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について

嘱託職員の報酬月額を改正するにあたり、報酬上限額を改正するもの。

問 嘱託職員の雇用人数は、67名。

答 嘱託職員の雇用人数は、67名。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例について

図書館施設検討委員を新設し、月額6100円、半日額3800円、教育委員会の委員長を教育長職務代理に、事務事業評価委員を総合計画等評価委員に、衛生組合長を環境衛生委員に、ごみ集積場設置地区手当を5000円から1万円に改正す

るもの。公共下水道受益者負担金賠償判定審査会委員と、交通災害共済推進委員を削除。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村税条例等の一部を改正する条例について

個人住民税における住宅ローン減税措置の2年半の延長、消費税の増税延期に伴う所要の規定の整備として、法人住民税法

人税割の税率及び軽自動車税における環境性能割の導入を平成29年4月1日から平成31年10月1日に変更するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村手数料条例の一部を改正する条例について

死亡届の受付時に発行される埋火葬証明書について、再交付時のみ300円を徴するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村公営塾利用料徴収条例の一部を改正する条例について

白馬村公営塾の利用料の改正を行うもので、基本利用料3000円に、大学進学コース

3年生は5000円、2年生は3000円を加算するもの。

問 しろうま學舎と学心直しのしろうま塾との住み分けは、

しろうま學舎は進学を目指す生徒が主で、受験対策として成果が上がれば生徒も

増えるので整理して受け入れた。しろうま塾は学校側がみており英語と資格取得を主にしている。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村廃棄物の処理及び清掃に



カップル成立なるか？ 「若者交流・結婚支援」事業 「おとなの雪上運動会 in 白馬」